

市のお金の使い方をCHECK!



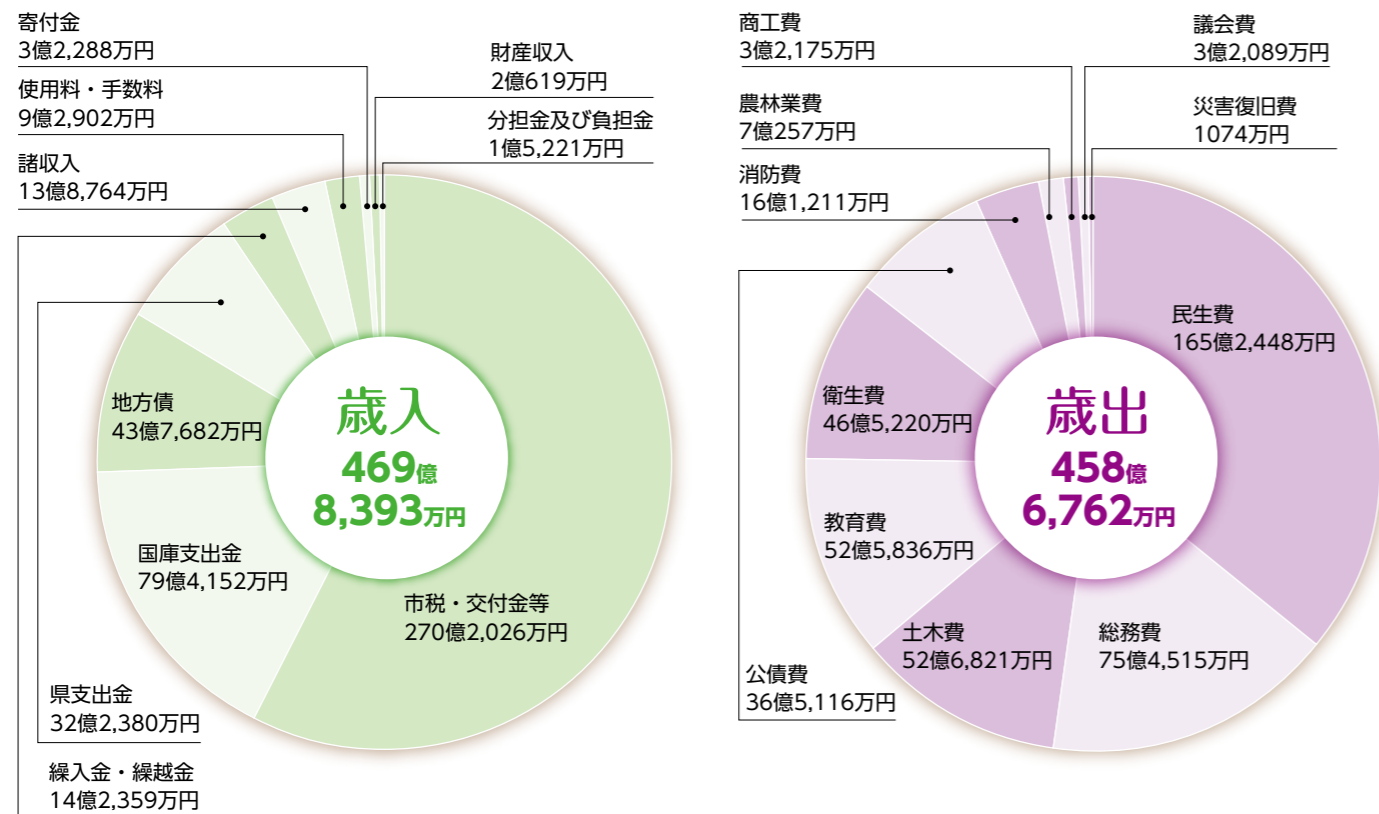
令和6年度 決算を審査しました

市の予算が適正に執行されたかどうか、また、各事業が適正かつ効果的に行われているかどうかを審査する予算決算常任委員会を9月24日から26日、29日から30日に開催しました。

各分科会（経営政策・福祉教育・生活地域分科会）での個別審査および全体会での総括質疑を経て、討論・表決を行いました。

10月20日の臨時会において、一般会計・特別会計・企業会計の計9会計の決算が認定されました。

一般会計の決算状況



特別会計の決算状況

	歳入	歳出
国民健康保険事業	107億1,116万円	106億7,727万円
公営墓地整備事業	2,023万円	2,023万円
駐車場事業	4,067万円	4,067万円
介護保険事業	84億4,754万円	83億7,880万円
後期高齢者医療事業	31億3,288万円	30億6,967万円

企業会計の決算状況

		収入	支出
市民病院事業	収益的	89億3,695万円	96億9,777万円
	資本的	9億8,721万円	14億1,029万円
水道事業	収益的	28億99万円	23億8,036万円
	資本的	1億6,955万円	13億8,097万円
下水道事業	収益的	30億1,191万円	27億668万円
	資本的	7億7,239万円	15億5,739万円

予算決算常任委員会では、各会計を厳しくチェックし、慎重な審査を行いました。
委員から出された意見の一部を紹介します。



委 = 委員 市 = 市長または市職員

全般

予算と決算の乖離に伴う財政収支見通し

委 実質収支は黒字であるが、令和6年度の当初予算額と決算額において大きな乖離が見られた。今後10年間の財政収支見通しで約93億円の収支不足が見込まれる現状をどのように理解すればよいか。

市 当初予算は財政調整基金を取り崩す予算編成であったが、国からの地方交付税の増などにより、結果として取り崩さない決算となった。今後、予算編成や収支見通しの精度向上や的確な精査に努め、財政運営の信頼性を確保していく。また、市民への適切な情報提供にも配慮したい。



歳入

固定資産税の増収と今後の見通し

委 増収の要因と今後の見通しは。

市 メガソーラー施設の設置による償却資産税収の増及び土地・家屋の評価替えにより、約2億5,000万円増加した。太陽光発電施設の償却年数は法令で17年と定められ、年に6%弱の償却率で徐々に下がるため、税収は急減とはならず、毎年1,000万円から2,000万円の減収になる見込みである。

森林環境譲与税の活用

委 森林環境税は令和6年度から市民1人当たり1,000円課税されているが、国からの森林環境譲与税はグリーン・クリーン基金への積立より森林整備や危機管理目的の伐採など事業として市民に還元すべきでは。

市 年度内に事業予算化できない分を後年の事業のため基金に積み立てたものだが、本税の周知も進んだことから地域から里山や集落整備への活用についての要望が増えつつある。令和8年度予算において、基金の活用も含めた予算措置を検討したい。

多世代交流館の利用促進

委 他施設ほど認知されておらず比較的施設に空き状況が多いが、今後、周知方法の工夫により稼働率を上げることで収入増を見込めるのでは。

市 現在、主に市ホームページにより周知しているが、SNS発信や他の媒体利用を含めたさまざまな選択肢の中で効果的な方法を引き続き検討していく。

